

CLI ベースのセットアップ プログラムによる スイッチの設定

ここでは、スタンドアロン スイッチをコマンドライン インターフェイス (CLI) ベースでセットアップする手順について説明します。Express Setup を使用したスイッチのセットアップについては、『Cisco IE 3000 Switch Getting Started Guide』を参照してください。

スイッチを電源に接続する前に、第 2 章「スイッチの設置」を参照して安全に関する注意事項を確認してください。

スイッチを設置する手順、スイッチ ポートに接続する手順、または Small Form-Factor Pluggable (SFP) モジュールに接続する手順については、第 2 章「スイッチの設置」を参照してください。

コンソール ポートから CLI にアクセスする場合

スイッチのコンソール ポートを PC またはワーク ステーションに接続し、端末エミュレーション ソフトウェアを通じてスイッチにアクセスすることにより、設定済みスイッチ、または未設定のスイッチ上で CLI にアクセスできます。

コンソール ポートに接続する手順は、次のとおりです。

1. 付属の RJ-45/DB-9 アダプタ ケーブルを使用して、スイッチの前面パネル (図 1-1) のコンソール ポートに RJ-45 コネクタを接続した後、PC または端末ポートに接続します。
2. PC または端末で端末エミュレーション ソフトウェアを起動します。端末エミュレーション ソフトウェア (通常、HyperTerminal または Procomm Plus などの PC アプリケーション) は、PC または端末とスイッチの間の通信を確立します。
3. ターミナル エミュレーション セッションを開始します。
4. PC または端末のボー レートおよびキャラクタ フォーマットを、以下に示すコンソール ポートのデフォルト特性に合わせて設定します。
 - 9600 ビット/秒
 - 8 データ ビット
 - 1 ストップ ビット
 - パリティなし
 - なし (フロー制御)
5. スイッチのスタートアップ ガイドおよび「スイッチ動作の確認」(P.2-11) の手順に従って、スイッチに電源を投入します。

PC または端末にブートローダ シーケンスが表示されます。Enter を押してセットアップ プロンプトを表示します。「初期設定情報の入力」(P.D-2) の手順に従ってください。

初期設定情報の入力

スイッチを設定するには、セットアッププログラムを完了する必要があります。セットアッププログラムは、スイッチの電源がオンになると自動的に実行されます。スイッチがローカル ルータやインターネットと通信するのに必要な IP アドレスやその他の設定情報を割り当てる必要があります。これらの情報は、スイッチの設定や管理にデバイス マネージャまたは Cisco Network Assistant を使用する場合にも必要です。

IP 設定

セットアッププログラムを完了するには、ネットワーク管理者から次の情報を入手しておく必要があります。

- スwitchの IP アドレス
- サブネット マスク (IP ネット マスク)
- デフォルト ゲートウェイ (ルータ)
- イネーブル シークレット パスワード
- イネーブル パスワード
- Telnet パスワード

セットアッププログラムの完了

セットアッププログラムを完了し、スイッチの初期設定を作成する手順は次のとおりです。

ステップ 1 最初の 2 つのプロンプトで **Yes** を入力します。

```
Would you like to enter the initial configuration dialog? [yes/no]: yes
```

```
At any point you may enter a question mark '?' for help.
Use ctrl-c to abort configuration dialog at any prompt.
Default settings are in square brackets '[]'.
```

```
Basic management setup configures only enough connectivity
for management of the system, extended setup will ask you
to configure each interface on the system.
```

```
Would you like to enter basic management setup? [yes/no]: yes
```

ステップ 2 スwitchのホスト名を入力し、Return を押します。

ホスト名は、コマンド スwitchでは 28 文字以内、メンバ スwitchでは 31 文字以内に制限されています。どのスswitchでも、ホスト名の最終文字として **-n** (n は数字) を使用しないでください。

```
Enter host name [Switch]: host_name
```

- ステップ 3** イネーブル シークレット パスワードを入力し、**Return** を押します。
- このパスワードは 1 ～ 25 文字の英数字で指定できます。先頭の文字を数字にしてもかまいません。大文字と小文字が区別されます。スペースも使えますが、先頭のスペースは無視されます。シークレットパスワードは暗号化され、イネーブル パスワードはプレーン テキストです。

```
Enter enable secret: secret_password
```

- ステップ 4** イネーブル パスワードを入力し、**Return** を押します。

```
Enter enable password: enable_password
```

- ステップ 5** 仮想端末 (Telnet) パスワードを入力し、**Return** を押します。

このパスワードは 1 ～ 25 文字の英数字で指定できます。大文字と小文字が区別されます。スペースも使えますが、先頭のスペースは無視されます。

```
Enter virtual terminal password: terminal-password
```

- ステップ 6** (任意) プロンプトに従って、簡易ネットワーク管理プロトコル (SNMP) を設定します。後で、CLI、デバイス マネージャ、または Cisco Network Assistant アプリケーションを使用して SNMP を設定することもできます。SNMP を後で設定する場合は、**no** を入力します。

```
Configure SNMP Network Management? [no]: no
```

- ステップ 7** 管理ネットワークに接続するインターフェイスのインターフェイス名 (物理的なインターフェイスまたは VLAN (仮想 LAN) の名前) を入力して、**Return** を押します。このリリースでは、インターフェイス名には必ず **vlan1** を使用してください。

```
Enter interface name used to connect to the
management network from the above interface summary: vlan1
```

- ステップ 8** インターフェイスを設定するために、スイッチの IP アドレスとサブネット マスクを入力し、**Return** を押します。下に示す IP アドレスとサブネット マスクは一例です。

```
Configuring interface vlan1:
Configure IP on this interface? [yes]: yes
IP address for this interface: 10.4.120.106
Subnet mask for this interface [255.0.0.0]: 255.0.0.0
```

- ステップ 9** **Y** を入力して、スイッチをクラスタ コマンド スイッチとして設定します。**N** を入力すると、メンバ スイッチまたはスタンドアロン スイッチとして設定されます。

N を入力した場合は、Cisco Network Assistant GUI に候補スイッチとして表示されます。後で、CLI、デバイス マネージャ、または Cisco Network Assistant アプリケーションを使用して、スイッチをコマンド スイッチとして設定することもできます。あとで設定する場合は、**no** を入力します。

```
Would you like to enable as a cluster command switch? [yes/no]: no
```

以上でスイッチの初期設定が完了しました。スイッチに初期設定スクリプトが表示されます。

The following configuration command script was created:

```
hostname Switch
enable secret 5 $1$ZQRe$DPuLYXyQLm77v/a4Bmu6Y.
enable password cisco
line vty 0 15
password cisco
no snmp-server
!
!
interface Vlan1
no shutdown
ip address 10.4.120.106 255.0.0.0
!
```

```

interface FastEthernet1/1
!
interface FastEthernet1/2
!
interface FastEthernet1/3
!
...(output abbreviated)
!
interface GigabitEthernet1/1
!
interface GigabitEthernet1/2
!
end

```

ステップ 10 次の選択肢が表示されます。

[0] Go to the IOS command prompt without saving this config.

[1] Return back to the setup without saving this config.

[2] Save this configuration to nvram and exit.

If you want to save the configuration and use it the next time the switch reboots, save it in NVRAM by selecting option 2.

Enter your selection [2]:2

いずれかを選択して **Return** を押します。

セットアッププログラムが完了すると、スイッチは作成されたデフォルト設定を実行できます。次のいずれかのツールを使用すれば、この設定の変更や他の管理タスクを実行できます。

- コマンドライン インターフェイス (CLI)
- Cisco Network Assistant (1 つまたは複数のスイッチの場合)

CLI を使用するには、端末エミュレーションプログラムを使用してコンソールポートから、または Telnet を使用してネットワークから、*Switch>* プロンプトにコマンドを入力します。設定情報については、スイッチのソフトウェア コンフィギュレーション ガイドまたはスイッチのコマンド リファレンスを参照してください。

Cisco Network Assistant を使用する場合は、Cisco.com で『*Getting Started with Cisco Network Assistant*』を参照してください。